

劇団CBC関連資料

—長谷川敬（芸名：芹江敬）氏所蔵写真から—

飯塚恵理人

はじめに

中部日本放送（CBC）が昭和二十六年の開局以来ラジオドラマに力を入れ、「劇団CBC」という放送劇団を持つていたことについては前稿^{〔註〕}で述べた。ラジオドラマは劇場に行かない「お茶の間ファン」という新しい聴衆を生み出し、またラジオドラマを元とした劇が劇場で演じられて新しいファンを劇場に集めるなど、東海地域の演劇界に大きな影響を与えた。筆者も所属する「メディアと古典芸能研究会」は、活動の一環として「東海民放倶楽部『音風景の会』」

の方々のご協力を頂き、ラジオドラマの放送台本・放送音源・舞台写真の収集・整理・デジタル保存を試みている。今回は元劇団員の長谷川敬（芸名：芹江敬）氏より御提供頂いた昭和二十年代・三十年代のラジオドラマ写真から、劇団CBCが「声優」の団体でありながら舞台演劇にも進出し、東海地域の演劇界に新しい音楽・演出などをもたらした、広義の「放送文化」に関わる資料を紹介したい。今回は長谷川氏所蔵の写真の紹介に留め、この写真の意味・地域の演劇界に劇団CBCが与えた影響については別稿を期す。

一 長谷川氏所蔵の写真一覧

以下に今回提供して頂いた長谷川氏所蔵の写真一覧と簡単な説明を示す。

写真1 昭和二十九年四月、CBC玄関前にて

写真2 CBC第二スタジオにて名古屋市芸術祭参加ラジオドラマ「鏡の中の倭姫」出演者左より柳有、藤岡ひろ子、浦野光、舟木淳、芹江敬（長谷川敬）、宮田桂、大村一平、中山民生、田中幸子

写真3 昭和二十八年夏、CBC玄関前にて

写真4 昭和三十年四月二十七・二十八日、名古屋市大須の新歌舞伎座にて北条秀司作「霧の音」左より子役、中村嘉奈子、

芹江敬、大村一平、松原実智子

写真5 同公演 左より井藤敬子、松原実智子、芹江敬、松川佳澄、

宮田桂、藤岡広子

写真6 同公演 左より松川佳澄、森孝子、井藤敬子、大村一平、

松原実智子、芹江敬、中村嘉奈子

写真7

昭和三十三年七月五・六日、愛知県立文化会館にてCBC劇団公演「新藤兼人作・演出「愛の調べ」の舞台稽古」折疊椅子に腰かけているのが作・演出の新藤兼人

写真8

昭和二十八年秋、CBC第四スタジオにて「前列左より大賀祥子、松川佳澄、中村嘉奈子、後列左より千藤洋（効果団員）、漫才師・南道郎、浦野光、永井百合子、芹江敬、中山民生、高橋かつ子、当時人気があった漫才師の南道郎がレギュラーで出演していた。

写真9

昭和三十五年三月、テレビドラマ「東京ゼロアワー」左より芹江敬、関弘子 この番組はCBCをキーステーションとしてTBS他で放映された。当時の東京で著名な女優であった関弘子が出演している。

写真10

昭和三十三年秋放送のテレビドラマ「O・ヘンリー劇場・最後の一葉」左より芹江敬、東宝劇団の藤波？子（不明。『きょうご』か）この番組もCBCをキーステーションとしてTBS他で放映された。

写真11

昭和二十九年五月、豊橋市公会堂にてラジオ・バラエティ番組「ナナオラ劇場」のCBC豊橋支社開局記念公開録音 左より漫才師・国友昭二（舞台下手へ歩いている人物）、芹江敬、漫才師・南道郎 演奏はCBC管弦楽団

写真12

昭和二十九年夏、劇団CBC集合写真 一〜三期生まで

二 劇団CBCの役割と地元演劇文化への貢献

劇団CBCは番組制作のために生まれた「声優」の劇団である。

しかし昭和二十年代後半のCBCはジャズや流行歌などをバックミュージックに使用するなど、時代の要請に応えた新しいラジオド

ラマを作ろうという意図を有していたため、CBCには専属の「効果団」メンバーがいた。（写真3、8の三輪保雄、千藤洋、山本茂夫ら）また写真8、11の漫才師南道郎との共演など既成のジャンルを超えた共演やバラエティ的な喜劇なども作った。

さらに劇団CBCは放送劇だけではなく、舞台演劇にも進出した。写真4、5、6、7は昭和三十年代前半だが劇団員が中心となって舞台公演を行った時の写真となる。こうした活動は地方での公開録音（写真11）などを通して、より広く民間へ広まっていたものと考えられる。

まとめ

劇団CBCは民放草創期から昭和三十年代前半の、特にラジオドラマの創造に大きな働きを果たした。しかしながら当時の資料の多くはすでに散逸し、メンバー、出演作品、出演作品の台本・音源など不明な部分が多い。今回は劇団CBCの元劇団員長谷川敬氏の資料を紹介させて頂いたが、今後も存命の劇団員・関係者の方々から資料を提供して頂き、すこしでもその実態に迫りたいと思う。

写真9、10はテレビの方であるが、広く劇団員以外の女優との演技交流を行っている様子が分かる。また「CBCをキーステーションとしてTBS他で放映された。」とあるように、当時のCBCもすでに東京から俳優・女優を招いてドラマを制作するなどして、CBCがドラマ制作の分野で全国キー局の役割を果たすことが多くあった。これらも関係者から台本等を提供して頂き、劇団CBCが演劇にもたらした新しさについて明らかにしていきたい。

注

- ① 拙稿「中部日本放送放送劇団の資料について」『椋山女学園大学研究論集』第
四三巻 人文科学編、椋山女学園大学、六一―六八頁、二〇一二
- ② 拙稿「昭和二十年代・三十年台のCBCラジオ劇関係資料について」『椋山
女学園大学文化情報学部紀要』第二二巻、椋山女学園大学文化情報学部、
一六九―一七八頁、二〇一三

補記

本稿は平成二四年度放送文化基金助成「民放草創期放送資料の収
集・整理と活用方法に関する基礎的研究」(人文科学・メディアと
古典芸能研究会 研究代表者・飯塚恵理人)による成果の一部とな
ります。

い い づ か ・ え り と / 文化情報学部教授
E-mail : erito@sugiyama-u.ac.jp



写真1



写真2



写真3

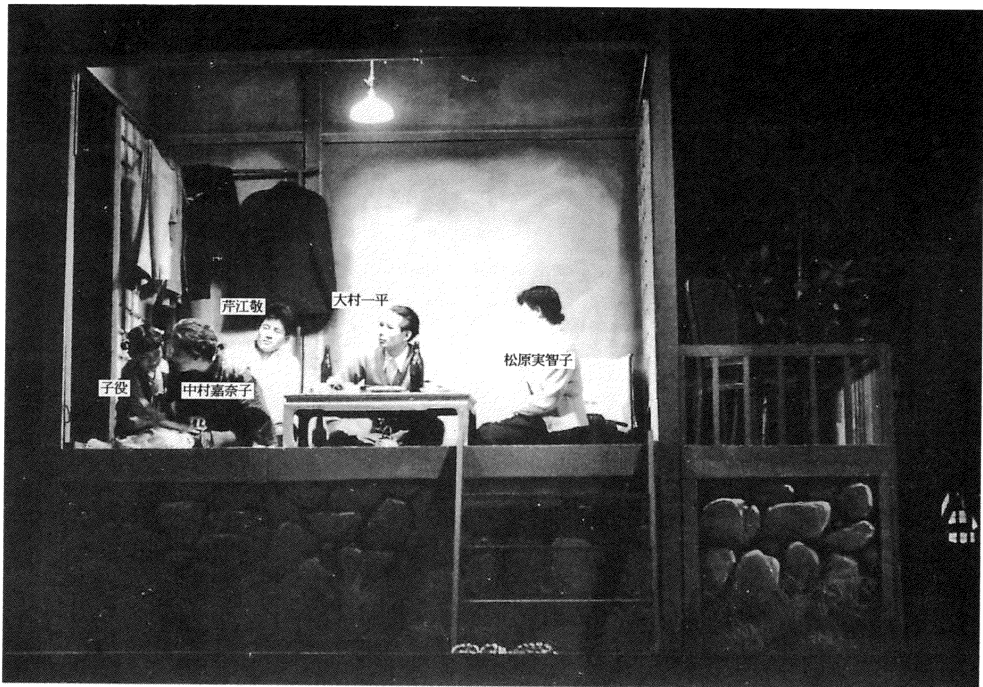


写真4



写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



写真10



写真11



写真12